

**【本学独自の授業「仏教看護論」】****看護学科生と宗教者がオンラインで対話し、
医療現場において宗教者と協働する意義について考えます**

京都光華女子大学（学長：高見茂）健康科学部看護学科では、仏教精神に基づく看護教育を通して、知識・技術に加え、患者さん一人ひとりに寄り添うことのできるおもいやりの心をもった看護職を養成しています。

このたび、本学看護学科4年生の必修科目である「仏教看護論Ⅱ（担当教員：小澤 千晶 准教授）」において、10月19日（月）に臨床僧侶の長倉伯博先生を講師としてお招きし、学外から僧侶をはじめとする宗教関係者とともグループワークを実施します。看護師となる学生たちは宗教者との対話を通して、医療現場に宗教者がいることの意味を考えます。

本科目は自らの看護実践を仏教の視点から整理することを主眼としています。3年次に学生自身が経験した病院での臨地実習を単に振り返るのではなく、仏教の視点を持って見直すことで、人間の生老病死の実際についてより深く学び、将来、看護職として様々な価値観を持った人々を支援する力を養います。

少子高齢化、グローバル化、AIの台頭など社会の様相が大きく変わる中で、人々の価値観も多様化してきています。一人ひとりに寄り添った看護をするために、「寄り添い」について自身の経験から実感を持って考え、学ぶ本講義は非常に貴重な機会であると考えています。

報道各社におかれましては、ぜひ、広くご案内・取材いただきますようお願い申し上げます。

記

■「仏教看護論Ⅱ」オンライン授業 概要■

- 【日 時】10月19日（月）14：30～17：40（本学4・5講時） ※集合時間14：00
【講 師】長倉伯博先生（臨床僧侶、鹿児島県善福寺住職、本学非常勤講師、国立滋賀医科大学非常勤講師）
【講 題】「仏教看護論Ⅱ」宗教者との対話
【授業形態】Webツール「Zoom」を活用したオンライン授業
【参加者】本学看護学科4年生 94名
【備考】取材をご希望の方は下記の連絡先にお問い合わせください。参加に必要なURLをお送りします。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学／短期大学部 入学・広報センター 担当：橋詰

[TEL] 075-325-5221 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp**2020年、学校法人光華女子学園は創立80周年を迎えます。**

光華女子学園（理事長：阿部 恵木）では、「真実心」を校訓として、徳育教育に力を注いでおります。今後ともさらに地域の皆さま方に愛される美しい心を持つ人間の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、

ご理解とご支援をよろしくお願いいたします